

小学校・道徳の内容項目の解説

自由・自律・責任

●小学校学習指導要領（平成20年3月）

1 主として自分自身に関すること		〔一般的な呼称例〕
低学年	-----	
中学年	-----	
高学年	(3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。	自由・自律・責任

●解説

関連の説明	自由を大切にするととともに、それに伴う自律性や責任を大切にする児童を育てようとする内容項目である。
全体的な理解	自己を高めていくには何のものにもとられない自由な考えや行動が大切である。しかし、その自由は放縦とは区別される。自由には、例えば、自分の正しい意思の伴ったものと、自由のはき違えともいうべきものがある。自由には、自分で自律的に判断し、行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも、そこには内から自覚された責任感の支えによって、自ら考え、判断し、実行するという自律性が伴っていることが求められる。
低学年	-----
中学年	-----
高学年	この段階の児童は、自主的に考え、行動しようとする傾向が強まる時期である。しかし、一方で、自由のとらえ違いをして自分勝手なふるまいをしてしまうことも見られる。自由な考えや行動のもつ意味やその大切さ、さらに、それに伴う自分の責任を踏まえた自律的な行動について理解を深める指導を心掛ける必要がある。

文部科学省「小学校学習指導要領解説・道徳編」（平成20年8月）より

■参考：中学校学習指導要領（平成20年3月）

1 主として自分自身に関すること		〔一般的な呼称例〕
(3) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。		自主自律・誠実・責任